



本紙3月15日号は3月8日時点の情報です。最新情報は市ホームページなどでご確認ください

この号の主な内容

- 2面 引っ越し時の手続き
3面 みんなのひろば・そだちのひろば
4面 令和4年度主要な施策(案)
5面 健康 6・7面 みんなの窓

人口●197,302(-739) 世帯数●82,805(+232)
2022年3月1日推計 ( )は前年3月1日比
発行・伊丹市広報課

〒664-8503兵庫県伊丹市千僧1-1 ☎072-783-1234(代表) ファクス072-784-8107(広報課) ホームページ https://www.city.itami.lg.jp

「未来へつなぐまちづくり」の実現に向けて

藤原市長 所信表明

藤原市長は2月24日の令和4年第1回市議会定例会で施政方針を表明し、総額では834億円の新年度予算案を提案しました。施政方針の概要は次の通り(4面に主要な施策(案)。問い合わせは市政課 ☎784・8007へ。

新型コロナウイルス感染症への対応と決意

世界で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されてから2年余りが経過しました。振り返ると、長期にわたる緊急事態措置やまん延防止等重点措置により、外出自粛や店舗などへの休業要請、時短要請が繰り返され、市民生活や事業活動に多大な影響を及ぼすこととなりました。

本市の人口

令和2年国勢調査に基づく人口等基本集計結果の確報値が公表され、本市の人口は19万8千138人と前回調査時から1千255人の増加となりました。「住み続けたいまち」を目標とし、市民の皆さんと進めてきた、まちづくりの成果が表れているものと考えます。

少子高齢化が進行し、日本全体の人口減少が加速化する状況下でも本市の魅力さらさらを磨き上げることで、これからも「選ばれたまち」を目指すことが重要です。

ICTの進展によるデジタル・トランスフォーメーションや気候変動問題へ対応したグリーン社会の実現は、あらゆる課題の解決とコロナ後に求められる日本の成長の原動力として、その取り組みの加速化が図られようとしています。

これからの市政運営の決意

ICTの進展によるデジタル・トランスフォーメーションや気候変動問題へ対応したグリーン社会の実現は、あらゆる課題の解決とコロナ後に求められる日本の成長の原動力として、その取り組みの加速化が図られようとしています。



スト捉え、持続可能なまちづくりを進めるべく「攻め」の姿勢で進取果敢に取り組みしていきます。一方で、こうした急速に変化する時代においても変わらないもの、次世代に引き継いで「守る」べき大切なものがあります。

それは先人の築いた歴史や文化、豊かな自然、人と人とのつながりに支えられる、本市の力強い「市民力」や誇り高い「地域力」といった財産です。

4年度は、第6次総合計画の2年目として、「一人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」の実現に向けた革新の年となるよう、リーダーシップを発揮して取り組んでいきます。

施政方針の全文は、市ホームページ(下二次元コード)から読み取り可)で閲覧できます。



新型コロナ

感染拡大防止に協力を

県のまん延防止等重点措置実施期間が3月21日まで再延長となりました。市は、自宅療養中の人へ食料品などを配布しています。詳しくは市ホームページコールセンターに問い合わせを。市支那物資コールセンター ☎764-5828 市危機管理室 ☎784-8166

デジタル改革・グリーン社会の実現

【デジタル改革】新庁舎では、ICTを活用した「スマート窓口」を導入し、窓口のデジタル化を推進します。【グリーン社会の実現】統合新病院では、ZEB Ready認証取得に向けて事業を進めるとともに、脱炭素化に向け電気自動車(下写真)に対応した急速充電設備を設置します。来年度は、目標達成に向けた道筋を立て、全庁横断的に取り組みを具現化していくため「グリーン戦略室」を設置します。



未来を担う人づくり

【幼児教育・学校教育の充実】就学前施設のICT環境の整備やICT教育の推進を図るため、支援員を追加配置します。スクール・ソーシャル・ワーカーを追加配置するなど、困難を抱える児童・生徒の支援体制の強化を図ります。【放課後児童くらぶの充実】夏期休業期間中に民間事業者による昼食提供の試行事業を行います。【こども医療費助成拡充】小・中学生の通院医療費の助成は、7月から保護者負担なし(所得制限あり)へと拡充します。



安全・安心のまちづくり

【新庁舎整備】11月、免震構造を採用し、災害時の防災拠点となる市役所新庁舎がオープンします。激甚化・頻発化する豪雨災害や南海トラフ地震への備えなど引き続き災害に強い安全・安心なまちづくりを進めます。【地域医療体制整備】統合新病院(下写真)は、令和7年度の開院を目指し4月から本体工事に着手します。感染症対応手術室や陰圧切り替え可能な病室を整備するなど、機動的に対応できる地域の基幹病院としての機能を発揮します。



4月22~24日オープニングイベント 市立伊丹ミュージアム

4月22日(金)、歴史文化・芸術の発信拠点として「市立伊丹ミュージアム」がグランドオープンします。これにちなみ次の通りイベントを開催します(本紙8面に関連記事)。「弦楽四重奏によるオープニング・ミニコンサート」4月22日(金)午前11時、旧岡田家住宅・酒蔵で。弦楽四重奏団「アンサンブル和奏」によるコンサート。定員30人。無料。当日直接、会場へ。先着順。☎784・804

【型染ステンシルでオープニンググッズをつくる】22日(金)午前11時~午後4時、アトリエ。布バッグや酒の升、コースターにステンシルで飾り付け。参加料▽布バッグ・升 各300円▽コースター 無料。当日直接、会場へ。【郷町店】22~24日の午前11時~午後4時、旧石橋家住宅。定員各回8人。【SHIGAMA DOUGH NUTS】Itami Bakery ▽フレンチアップルパイ専門店 economyが商品を販売。売り切れ次第、終了。【伊丹塾 vol.1 座談会「SAKEがデザインする縁」】23日(土)午後2時、旧岡田家住宅・酒蔵で。近衛家と酒造家について対談。定員80人。無料。☎4月1日から電話で同館へ。先着順。【銅版画プレス機で「がまくんとかえるくん」の記念エコバッグをつくる】23日(土)午前11時~午後4時、アトリエで。絵を銅版画用のプレス機で転写したエコバッグを作る。参加料500円。当日直接、会場へ。【織機で春夏素材のクラッチバッグを作る】24日(日)午前10時半、午後2時半、アトリエで。足踏み式の織り機でクラッチバッグを作る。対象・定員は小学5年生以上各10人。参加料各3千円。☎3月25日から電話で同館へ。先着順。\* \* 伊丹市立伊丹ミュージアム ☎772・5959。【日本遺産イベント】24日(日)、旧岡田家住宅・酒蔵で。【紙アプリの体験】▽午前10時半から)の部▽午後(1時半から)の部。全10回。自分の描いた絵が映像になって動くお絵描きを体験。定員各回8人。【日本酒好き酒ゲーム】▽午前(10時半から)の部▽午後(1時半から)の部。全12回。日本酒の飲み比べゲームを通じて日本酒を知る。対象・定員は20歳以上各回5人。いずれも無料(要整理券)。当日午前10時から同会場配布。先着順。☎伊丹市ブランド・観光戦略課 ☎744・2088。



記念エコバッグ